

◀目次▶

◆お知らせ/イベント情報など

【詳細報告】4/20「地層処分技術コミュニケーション-包括的技術報告書と地層処分の安全性に関する対話のあり方-」開催報告

【報告と予定】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の出展報告と今後の予定

◆その他

【NUMOのひと】

【よくいただくご質問をピックアップ】「処分施設を受け入れた場合、地域にどのような影響がありますか？」

◆お知らせ/イベント情報など

【詳細報告】4/20「地層処分技術コミュニケーション-包括的技術報告書と地層処分の安全性に関する対話のあり方-」開催報告

4月20日（土）に「地層処分技術コミュニケーション-包括的技術報告書と地層処分の安全性に関する対話のあり方-」を開催しました。

当日は、2018年11月にNUMOが公表した「包括的技術報告書」に関して、報告書を作成した意義と主要なメッセージについてご説明をし、併せて安全性に関する対話促進のための取組みのヒントを探る目的でパネルディスカッションを行いました。

このたび、詳細な開催報告を掲載しましたのでお知らせします。

▽4/20「地層処分技術コミュニケーション-包括的技術報告書と地層処分の安全性に関する対話のあり方-」開催報告

<https://www.numo.or.jp/topics/201919042415.html>

【報告と予定】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の出展報告と今後の予定

★コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」出展報告

・6月22日（土）、23日（日）：「かざこし子どもの森公園」（長野県飯田市）

★今後の出展予定は下記のとおりです。

・6月29日（土）、30日（日）：「八戸公園/こどもの国・八戸植物公園」（青森県八戸市）

▽詳細についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/topics/201919062515.html>

◆その他

【NUMOのひと】

こんにちは。地域交流部の東谷です。私は日頃、説明会で地層処分に関するご質問にお答えしたり、地層処分についてより詳しく知りたいと思っていただいた方へ施設見学のご案内などを行っています。NUMOに着任して1年半近くが経ちますが、あちらこちらへ説明会でお邪魔するので、色々な地域の方とお話をする機会がありとても新鮮な毎日です。

地域によって文化や習慣も様々かと思いますが、お話をする中で特に感じるのはその土地ならではの言葉やイントネーションです。かく言う私も小さいころから聞きなじみのある地元の方言には愛着を感じており、東京に住む今でも、家族や友人とは方言で話しています。

私の地元の方言、それはずばり広島弁です。皆さん、広島弁というとどんなイメージをお持ちでしょうか。せっかくなのでここでは、メジャーなものを少しご紹介します。まず、某コマーシャルにも使われた「広島じゃけん」の「～じゃけん」は、「～だから」という意味です。実際には「～けえ」と言うことが多く、「お腹が空いたけえ（お腹が空いたから）」という風に使います。「たわん（背丈や腕等が届かない）」、「たいぎい（だるい、面倒くさい）」も、当たり前のように使っていて、人によっては方言であることに気づいていなかったりする頻出ワードです。

そして広島県のお隣、私の前任地である島根県でも、たくさんの魅力的な方言に出会いました。その中でも、私は特に「～してもらえると喜びます」という表現が気に入っています。これは「～していただくと嬉しいです、幸いです」と同義ですが、喜ぶ、という動作がとても可愛らしいなと思います。そしてこれに似た表現で、山口県では「幸せます」という言葉があるそうです。ご想像のとおり「幸せに思います」という意味だそうで、これもなんだか言われるとほっこりした気持ちになります。

説明会をとおした全国各地の方言との出会いに加えて、NUMOにはさまざまな都道府県出身者がおり、今の職場に来てからは広島弁以外の方言に触れる機会も増えました。そして改めて、方言は温かくて素敵だなとしみじみ感じています。方言の魅力ってなんだろうと考えてみましたが、親しみが感じられ、心の距離が縮まるのでしょうか。方言で話しかけられると、なんだか心を許されて、本音で話をしているという感じがしませんか。

NUMOは処分場の建設地が決定すれば、そこへ本拠を移転する計画です。今は建設地の選定に向けた全国各地での理解活動を進めている段階ですが、やがて理解活動から処分地選定調査、そして施設建設へと、地域の皆さんとNUMO職員が本音で（方言も交えながら）話をして信頼関係を築き、地層処分事業が進展する日が早く来ればいいなと願っています。

【よくあるご質問をピックアップ】

NUMOホームページでご紹介している「よくあるご質問」をピックアップし、ご紹介しています。

今回は・・・

Q. 「処分施設を受け入れた場合、地域にどのような影響がありますか？」

A. 地層処分事業は、処分地の選定から建設・操業、閉鎖に至るまで100年以上の長期にわたる事業であり、受け入れていただいた地域の持続的発展があつてこそ、事業を安定的に運営することができると考えています。

処分地が決まれば、NUMOは本拠を現地に移転し、地域の一員として事業を遂行するとともに、地域の発展に貢献していきます。

処分施設の建設や操業には、高度な技術を支える質の高い人材が相当数必要であり、地域の雇用や教育などにもプラスの影響を与えられると考えています。

また、資機材や物資の調達などの面でも、地域経済への貢献ができると考えます。

そのほか、他地域との交流の拡大、道路などインフラの改良・整備、まちの賑わい、税収の増加など、様々な面でプラスの影響ができるだけ大きくなるように努めます。

一方、マイナスの影響（風評被害等）をしっかりと予防できるよう、必要な措置を検討し、実施します。

NUMOは、地域の皆さまと常にコミュニケーションを取りながら、事業による地域への影響を総合的に勘案し、地域の皆さまが「良かった」とお考えいただける共生関係を目指し、地域の皆さまのニーズを踏まえたきめ細かな対応をさせていただきます。

▽NUMOホームページ「地域との共生に向けて」ページはこちら

https://www.numo.or.jp/kagakutekitokusei_map/kyosei.html

▽「よくあるご質問」はこちら

https://www.numo.or.jp/q_and_a/

★NUMOメールマガジンのご感想やご意見をお待ちしております★

webmaster@numo.or.jp までどうぞ！

メルマガ登録はこちらから <https://www.numo.or.jp/mailmagazine/>

メルマガ解除はこちらから webmaster@numo.or.jp

(件名に「メルマガ解除」と記載してください)

ご意見、ご感想はこちらから webmaster@numo.or.jp

〔連絡先〕 広報部 TEL 03-6371-4003

NUMOホームページ <https://www.numo.or.jp/>
